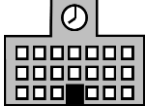


命の大切さを学ぶ教室

令和8年度 **開催校**  **大募集!**



公益社団法人みえ犯罪被害者
総合支援センター
シンボルマーク

犯罪被害

子供達を取り巻く大切な命の問題。
子供達が考える機会にしてみませんか。

自殺

災害



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョッとちゃん」

1 開催目的

犯罪被害者遺族等が直接生徒に語りかけることで、

- 被害者等が犯罪等から受けた様々な痛み、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を望む被害者等の思いなどへの理解を深め、犯罪被害者等支援の機運の醸成を図る。
- 若者の規範意識の向上を図る。

2 教室の概要

- ① 開催数・・・年間12回程度 (先着順)
- ② 実施時間・・・約60分程度(要相談)
- ③ 実施内容・・・犯罪被害者遺族等による講演、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター職員による講話、アンケート



3 反響等

本教室は、**人権教育**や**交通安全教育**、**防犯教育**等の様々な学習領域と関連することから、毎年各校において活用していただいています。

生徒からは、

- ◆ 命の大切さを改めて考えることができた。
- ◆ 「死ね」とか「死にたい」とか簡単に言ってしまっていたけれど、言わないようにしたいと思った。
- ◆ 命は自分だけのものではなく、自分を大切に思ってくれる人のものでもあると思った。
- ◆ 社会のルールを守ることは、自分の命だけでなく他の人の命を守ることににもなるのだとわかった。
- ◆ 事件や事故はニュースの中の出来事だと思っていた、こんな身近で起きているとは思わなかった。

などの感想が寄せられています。

4 主な講師紹介

◇ 交通事故被害者遺族

平成9年、当時高校2年生だった息子さんを交通事故で亡くされたことをきっかけに、自ら命の大切さを訴え「いのちの言葉プロジェクト」を主催し、県内の大学生とともに人形劇を上演するなどの啓発活動を行っています。

◇ 少年犯罪被害者遺族

平成8年11月、当時高校1年生だった息子さんを他校の生徒の集団暴力により亡くされたことをきっかけに同じような境遇の家族とともに「少年犯罪被害当事者の会」を結成し、被害者にも加害者にもしない社会作りを目的に活動を行っています。

開催を希望される学校は、下記【担当】宛てにご連絡ください。

【担当】公益社団法人 みえ犯罪被害者総合支援センター

☎ 059-213-8211

(共催)三重県警察本部警務部警務課被害者支援室

☎ 059-222-0110(内線 2931)

(後援) 三重県教育委員会



保護者も同席
いただけます。